

平成 25 年度経営改善に向けた主な取組みについて

I 医療の質の向上の取組み

1 医師・臨床研修医の確保と資質向上支援

(1) 医師の人材確保のための方策

- ① 関連大学附属病院医局に対する医師派遣要請の継続的な実施
- ② 医師への助成制度
 - ・ 学会出張費用及び参加負担金の助成
 - ・ 住宅の家賃助成（基準助成額 4 万円/月）
- ③ 救急勤務医・産科医確保のため、特殊勤務手当の支給
- ④ ⑨ フォートウェーン医療交流事業

(2) 臨床研修医の確保

- ① 医学生向けの病院説明会（レジナビ）に参加
横浜会場（4 月） 東京会場（7 月） 金沢会場（予定）
- ② 本院における医学生の実習（4～6 月）や見学会の受け入れ（随時）

2 看護師及び医療技術者等の育成

(1) 新人看護職員研修事業

(2) 看護師育成事業

- ① 認定看護師の育成 認定看護師教育課程 2 名受講＜認知症、緩和ケア＞予定
- ② 認定看護管理者の育成
- ③ ⑨ 助産師の育成
- ④ 認定看護師の資格更新に係る負担金への支援

5 名＜緩和ケア、皮膚排泄ケア、がん化学療法看護、感染管理、乳がん看護＞

(3) 薬剤師、検査技師等医療技術者育成事業

- ① 感染制御専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師の育成
- ② 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の育成
- ③ 各種指定病院として必須な資格の維持、資質向上のための研修会参加等の支援

3 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

地域がん診療連携拠点病院として、「女性のがん・放射線治療」を特色としたがん治療の更なる機能強化を図る。

- (1) 5 大がん（乳腺・大腸・胃・肝・肺）地域連携クリニカルパス運用及び連携医療機関の拡大
- (2) 緩和ケア研修会の開催
- (3) がんに関する情報発信の強化
- (4) 「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」への積極的な参加（TV 会議への参加）
- (5) ⑨ 高岡市大腸がん検診事業への参加
- (6) がん相談支援の充実
- (7) がん看護事例検討会の参加

4 その他

(1) ⑨病院機能評価 (Ver1.0) の受審

- ・病院が提供する医療の質の維持・向上を図ることや、具体的な課題の改善に向けて取り組むことにより適切な医療サービスの提供を行う。 受審予定日 平成 25 年 8 月下旬

(2) ⑩災害拠点病院機能維持整備事業

- ・非常時における災害拠点病院としての機能を維持・強化するため、自家発電装置の更新及び非常用井水ろ過装置の取付等を行う。

II 経営改善の取組み

1 診療報酬加算取得に向けた取組み

(1) 平成 24 年度の重点的な取組み

①救急医療管理加算、薬剤管理指導料、栄養食事指導料の取組み

算定件数

(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
救急医療管理加算	637	653	733	905	1070	1061	1242	1396	1811	1341
薬剤管理指導料	264	278	296	378	377	356	464	431	419	411
栄養食事指導料	119	109	113	121	123	110	142	126	154	121

- ・緊急入院の患者に対する必要な医療資源の投与を実施する。
- ・特に短期入院患者に対して確実に指導に入る体制を確立する。

②総合入院体制加算の取得 (平成 25 年 1 月～ 機能評価係数 I (0.0291))

取得強化取組み後の退院患者に占める逆紹介率等の割合の推移

(単位：%)

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
42.07	43.37	41.15	46.02	48.85

- ・診療情報提供時 (逆紹介) における資料添付の徹底 (地域連携室との連携体制の見直し)
- ・退院患者に占める逆紹介と治癒の割合を 40%以上継続する (地域連携の推進強化)

(2) 新たな機能評価係数取得に向けて検討を予定しているもの。

①地域医療支援病院加算 (0.0277) (目標：平成 28 年度) (高岡市総合計画)

《地域医療支援病院の承認要件》

- ・紹介率・逆紹介率の基準の選択 (80%以上、60%・30%、40%・60%)
- ・施設共同利用の体制整備 (利用する医療機関が 5 割以上、共同利用専用病床の確保)
- ・24 時間体制で重症救急患者を受け入れ (医療従事者、専用病床の確保)
- ・地域の医療従事者の資質向上を図るための研修体制の整備
- ・医療法に規定する施設を有する (集中治療室、研究室、医薬品情報管理室 他)
- ・診療、病院の管理及び運営に関する諸記録を適正に管理し、閲覧に供する体制整備
- ・業務遂行状況を審議する委員会の設置 (医療関係団体、市町村、学識経験者 他)

②特定集中治療室管理料（7 日以内 7,450 点 8 日以上 14 日以内の期間 5,950 点）

- ・専任の医師が常時、特定集中治療室内に勤務すること
- ・看護配置が 2 対 1 であること

③精神病棟入院基本料（13 対 1 931 点）

- ・入院患者の平均在院日数が 80 日以内であること
- ・看護配置 現在 15 対 1 → 13 対 1

④外来化学療法室の機能強化

- ・外来における抗がん剤治療の拡充を図るためベッド数の増床を検討
- ・がん薬物療法専門医、がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師及びがん専門薬剤師を配置する必要がある。

2 地域連携の取組み

地域医療機関との連携を強化し、紹介率・逆紹介率の向上を図る。地域医療支援病院を目指し、数値目標を設定し、取組みを進める。

- (1) 医師等による 開業医、福祉施設への訪問
- (2) 各医療機関、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所などの各施設等との情報交換会開催
- (3) 地域連携クリニカルパスの推進を図るための研修会の開催
- (4) 「高岡医療圏地域れんけいネット」を活用した地域医療連携の拡充（新システムに更新）
機能：診療情報の参照機能、診療等の予約機能、電子メールの送受信機能、
文書作成支援機能、掲示板機能
運営：高岡医療圏地域医療連携システム協議会（高岡市医師会、厚生連高岡、高岡市民ほか）
- (5) 戦略的な広報活動の充実
 - ①高岡市民病院だよりの発行（3 回予定：4 月、9 月、1 月）（開業医 417 施設 47 等）
 - ②開業医訪問（7 月末～9 月末）（再掲）
 - ③医療連携懇話会の開催
 - ④病院案内の更新
 - ⑤⑨院外健康教室の開催、出前講座の体制整備
 - ⑥⑨ホームページの積極的な活用

3 医療機器等の整備・充実

- (1) 医療機器の計画的な更新（計画総額 1,200,000 千円）（期間：平成 21 年度から 5 ヶ年）
病院改築時等に購入した高度医療機器の計画的更新
 - ・平成 25 年度更新（6 件）（最終年度）
全身麻酔装置、電子内視鏡システム、超音波診断装置（腹部、泌尿器）など
- (2) 空調・電気・機械設備の計画的な修繕
病院改築時に設置した空調・電気・機械設備機器の計画的修繕（平成 23 年度から実施）
 - ・平成 25 年度修繕予定（10 箇所）
ナースコール設備、自走台車制御監視装置など

4 費用節減の取組み

(1) 医薬材料費の効率的な運用

- ①高額で値引き率の低い薬品について、引き続き自治体 4（富山、黒部、砺波、高岡）病院で共同購入を行い薬品費用の削減を図る。
- ②ジェネリック医薬品の採用促進による費用の抑制

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H25年2月現在
a後発品数	114	118	154	159	186	230
b採用数	1440	1405	1393	1403	1414	1499
数量比a/b %	7.9	8.4	11.1	11.3	13.2	15.34
金額比	6.3	6.3	9.1	10.2	11.3	

中期経営計画目標(H25年度まで)

採用数**150品目**以上、数量比**20%**以上、金額比**10%**以上

(2) 環境対策

- ・電球の LED 化の実施（トイレ、誘導灯）
- ・院内照明システム更新（点灯箇所細分化）

(3) その他

- ・医療機器保守業務委託の業務内容の精査を行い保守業務委託契約の統合化